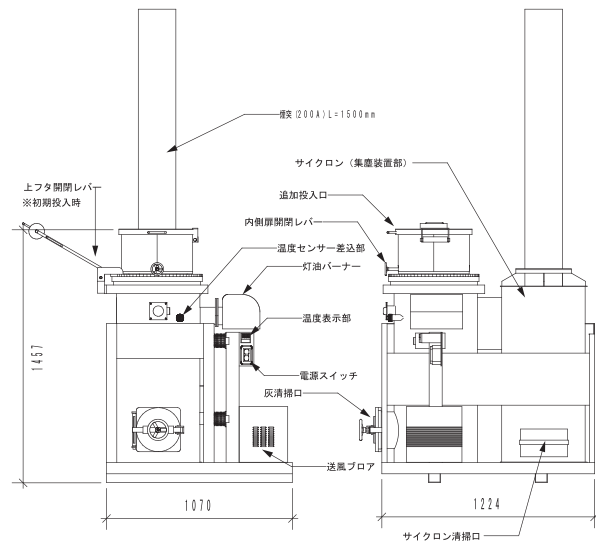


型番	SO-507SX
外形寸法	W1070×D1224×H1457mm
投入方式	逐次投入方式（自火燃焼）
火床面積	0.18㎡（Φ480）
内容量	165リットル
投入口	直径480mm
重量	350kg
焼却能力	紙・木屑類 8.25kg/h プラスチック類 4.13kg/h
備考	助燃焼バーナー・外気遮断投入扉・集塵装置（サイクロン）・デジタル燃焼温度測定計付
オプション	廃油オプション（廃油自動供給装置）・助燃バーナー自動装置

- ご利用にあたっては、条例などにより一部届出が必要な地域がありますのでご確認ください
- 製品の仕様は予告なく変更する場合がございます、あらかじめご了承ください



## 製品に関するよくある質問

## Q 焼却炉は使用禁止ではないのですか

A 全ての小型焼却炉が使用禁止と思われる方は非常に多いですが、法律で定められている構造基準を満たしている焼却炉は使用できます。当機は勿論、構造基準を満たしており使用可能です。

## Q 屋外設置は可能ですか

A 焼却炉として使用される場合は屋外設置で問題ありません。簡単な雨よけ程度の屋根をかけていただくと炉の耐久性が増します。また寒冷地では屋内に設置し、ストーブとして使用も可能です。

## Q 煙・臭いは出ますか

A 焼却すれば多少少なけれ煙と臭いは発生します。しかしながら当機は弊社40年の経験と技術により、煙と臭いを極力抑えることが可能となりました。

## Q 耐用年数はどのくらいですか

A 通常5年から10年の間です。燃焼強度によって大きく差が生じます。耐久性に不安がありましたら当機よりも大きな機種をお勧めします。（別途カタログ請求して下さい）

## Q 何でも燃焼可能ですか

A 塩素系（塩化ビニル等）は有害ガスの発生、また炉自体にダメージを与えますので燃焼禁止です。また安全上、ガソリン・シンナーなどの揮発性、爆発性液体は燃焼厳禁です。

## 取扱い注意事項

ガソリン・シンナー・爆発物・塩ビ等、ダイオキシンの出やすいものは絶対に使用しないで下さい

燃焼物は大量に投入しますと異常燃焼する場合がありますので、燃焼物・焼却量に合わせて投入量を決めて下さい。



## ステンレス製 高分子焼却炉

ゴミ ZERO 君

## Technology for Ecology

届出不要＋新廃掃法構造基準適合  
ダイオキシン類対策特別措置法及び施工令に適合

- 集塵装置（サイクロン）を装備
- 二次燃焼バーナーを装備
- 温度監視デジタル計を装備
- 外気遮断三重扉投入方式採用
- 耐久性に優れたステンレス製
- 強制燃焼方式で完全燃焼

New  
SO-507XS



私たちの大切な環境を守るため、最新の技術を集結。

公害防止に貢献  
燃焼機器で利益を提供する

信州工業株式会社

SHINSHU INDUSTRIES INC.  
<http://www.shinshukogyo.co.jp>

SINSHU 公害防止に貢献する  
信州工業株式会社

本社営業部 〒382-0098 長野県須坂市墨坂南1-8-13  
TEL 026-245-8211 FAX 026-248-2450  
URL <http://www.shinshukogyo.co.jp>

販売店名

# ステンレス製 高分子焼却炉 ゴミ0 君

Technology for Ecology SO-507XS

## 外気遮断二重扉投入方式を採用

逐次投入式焼却炉は一括投入式（乾留式）に比べ取り扱いの簡易性、設備の省スペース性に優れていますが、唯一投入時に外気に触れる為、一時的に炉内温度が下降し800℃を維持できないというデメリットが生じてしまいます。それを克服するため、当社が独自に開発した方式「外気遮断二重扉投入方式」を採用しました。燃焼物をまず外側の投入扉を開き投入し、外側扉を閉めた後、内側扉を回転させ炉内に落下させます。この方式により外気と遮断しながら燃焼物を炉内に投入することが可能となりました。

800℃  
OVER



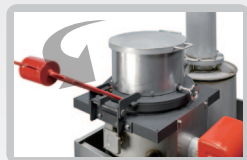
初期投入時



追加投入時



設置場所によって開閉方向を90°変更することが可能です



## 炉体はステンレスを使用

炉の材質にステンレス（SUS304）を使用していますので、雨水などによる酸化を防ぎ耐久性に優れています。また耐火レンガと異なり、適度に外部に燃焼熱を放出するので**屋内設置でストーブとしても使用可能です。**

## 廃油ストーブとしても使用可能

専用の「廃油オプション」を装着することで廃油ストーブとして使用できます。

※ 廃油オプションを使用しながら焼却炉として同時に使用は出来ません



## 燃焼に必要な空気をブローアで強制供給

本来プラスチック類を焼却しますと、黒煙が発生しますが、それは自然通風による燃焼空気量不足によるものです。当機はブローアにて強制的に燃焼空気を供給していますので、プラスチックといえども完全燃焼します。

## 集塵装置（サイクロン）を標準装備

遠心分離の原理を利用した集塵装置（サイクロン）を標準装備し、紙ごみを燃焼した際に出る燃えカスや、その他の灰分を捕集できます。※黒煙などは捕集できません。

## 二次燃焼バーナーを装備

昨今、環境ホルモンに多大な悪影響を及ぼすことで話題になっている「ダイオキシン」ですが、燃焼温度を800℃以上に保つとダイオキシンは発生しません。炉内温度を速やかに800℃まで上昇させ、また万が一、未燃ガスが発生した時のアフターバーナーとして灯油バーナーを標準装備しております。

## 温度監視デジタル計装備

高温で燃焼しているが常に監視しています。またオプションでサーモスタット機能を用いて上記の二次燃焼バーナーを燃焼温度に応じてON-OFFし、常に理想的な高温燃焼が維持できます。

**重要** 野焼は法律で禁止されています  
焼却炉に係る各種法規制をクリア

ダイオキシン類対策特別措置法（一部抜粋）

火床面積が0.5平米以上または焼却能力が50kg/h以上のものは行政に届出をし、年1回以上ダイオキシン濃度等の測定を行う（使用者負担）。

**CLEAR** 当機はこの届出対象外につき、届出・測定は不要です。  
またダイオキシン等の濃度基準をクリア（弊社自主測定）

廃棄物の処理及び清掃に関する法律（一部抜粋）

焼却炉は以下の構造を満たしていること

- ① 空気取り入れ口及び煙突の先端以外に焼却設備内と外気が接することなく800℃以上の状態で廃棄物を焼却できる
- ② 外気と遮断された状態で定量ずつ廃棄物を燃焼室に投入できる
- ③ 燃焼中の燃焼ガスの温度を測定するための装置が設けられていること
- ④ 燃焼ガスの温度を保つ為に必要な助燃装置が設けられていること

**CLEAR** 当機は全ての条件を満たしております ● 大気汚染防止法もクリア

上記以外にも地方自治体にて条例が定められている場合がありますのでご確認ください。

届出不要・構造基準適合品なので  
安心してご使用いただけます



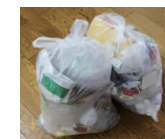
## ゴミ0 君で燃焼可能なモノ



車のバンパー・テールランプ・PP材等のプラスチック ※タイヤは不適



廃油やオイルエレメント・グリス・塗料カス等の油脂系ゴミ



書類・紙くず・ダンボール等の事務所などから排出されるゴミ類



木くず・バレット等の木材

And More!